

条件付き一般競争入札（事後審査方式）の公告

公告日	令和3年4月7日	
工事番号	下第15号	
工種	土木	
工事名	小矢部市特定環境保全公共下水道 金屋本江地区管布設その1工事	
施工場所	小矢部市 金屋本江 地内	
工事完成期限	令和3年 7月30日	
工事概要	延長 95.00m 管布設延長（開削工法 リブ付硬質塩ビ管 φ150 90.10m、 推進工法 硬質塩化ビニール管 φ150 4.00m）94.10m 1号マンホール 1箇所 公共柵及び取付管 1箇所、付帯工 一式	
予定価格	17,530,000 円(消費税及び地方消費税相当額を除く)	
低入札調査基準価格	設定有り 当該基準価格を下回る入札が行われた場合は、落札者の決定を保留し、後日、入札参加者に結果を通知する。	
入札参加資格	本店、支店又は 営業者の所在地	・小矢部市内に主たる営業所を有する者 ・準市内業者に認定された者
	等級又は総合評価 価値	・令和3・4年度小矢部市建設工事入札参加資格者名簿の 土木工事において、A等級又はB等級に登録されている者
	その他	・小矢部市条件付き一般競争入札実施要領第3条
入札方法	期間入札	
入札書の提出方法	持参又は郵送	
入札書の提出期間	令和3年4月12日 から 令和3年4月19日 まで 持参の場合の受付時間は市役所開庁日の8時30分～17時15分 郵送の場合は、期日内に指定郵便局必着	
入札書の提出先	総務部財政課	
開札日時	令和3年4月21日 9時54分	
開札場所	小矢部市役所 講堂（4階）	
入札保証金	免除	
契約保証金	納付必要（請負代金額が500万円以上の場合）	
積算内訳書	要（入札時に、入札書と同封して提出）	
入札の無効	小矢部市期間入札実施要領第7条による	
設計図書の配布	小矢部市ホームページ「事業者向け」―「入札案内・資格申請」に掲載 する設計図書を、ダウンロードにより取得する。	
設計図書に対する質問期間	令和3年4月14日	
質問に対する回答期限	令和3年4月16日	

工 種	下水道工事(2)	工 事 番 号	下 第 15 号	設計年月日	令和3年4月
工 事 箇 所	小矢部市 金屋本江 地内				
令和 3 年度					
小矢部市特定環境保全公共下水道					
金屋本江地区管布設その1工事					
小 矢 部 市					
建設リサイクル法対象工事					
請 負 金 額		工 期	令和 3年 4月22日 令和 3年 7月30日		

< 理 由 >

本工事は、汚水管の整備を図り、民生の安定と生活基盤の強化に寄与するものである。

< 概 要 >

○延 長	95.0 m
○管布設延長	94.1 m
開削工法 リブ付硬質塩ビ管 φ150	90.1 m
推進工法 硬質塩化ビニール管 φ150	4.0 m
○1号マンホール	1 箇所
○公共柵及び取付管	1 箇所
○附 帯 工	1 式

特記仕様書

工事名：小矢部市特定環境保全公共下水道 金屋本江地区管布設その1 工事

(一般関係)

第1条 一般

この特記仕様書は、「土木工事共通仕様書(富山県土木部)令和2年10月」第1編共通編1-1-1-2の第6項に基づき、当該工事に必要な事項について定めるものとする。

第2条 現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間

- 次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認められた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱うものとする。
 - ① 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
 - ② 工事の全部の施工を一時中止している期間
 - ③ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工事製作のみが行われる期間
 - ④ 上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間
- 2 前項の期間を確認する必要がある場合は、書面によることとする。

第3条 工事材料の品質証明資料の提出、段階確認

品質を証明する資料を事前提出し、監督員の段階確認を受けて使用する材料は下記のとおりとする。なお、JISマーク表示品、富山県コンクリート製品協会認定マーク表示品については、マーク表示状態の写真撮影にすることとし、品質証明資料の提出及び段階確認は省略してもよい。

対象材料 リブ付き硬質塩化ビニール管
各種継手類
組立マンホール各種部材
マンホール蓋
推進用鋼管

第5条 アスファルト混合物

- 1 受注者は、本工事のアスファルト混合物は再生材入りアスファルト混合物を使用するものとする。
- 2 受注者は、上記により難しいときは監督員と協議して再生材の混入しないアスファルト混合物（バージン材）を使用してもよい。

第6条 コンクリート配合

使用目的別の配合緒元は次表のとおりとする。

番号	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の 最大寸法(mm)	W/C (%)	C (kg/mm ³)	セメントの種類	使用目的
1	18	8	40	60以下		B・B	インバート

第7条 コンクリートの水セメント比

コンクリートの水セメント比は第6条コンクリート配合を遵守すること。指定した呼び強度に対して、セメント比が確保できない場合は、上位規格を用いるものとする。

第8条 リサイクル認定品の利用

本工事で使用する下記の品目については、公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針において先行利用グループに区分されている製品を利用する。

工種	品目(名称)	規格	製品名
組立マンホール	下水道用組立マンホール	内径900	エコ ユニホール スレンダ ハイブリッドホール プレホール K-TIKホール

ただし、先行利用グループに区分されている製品の入手が困難な場合は、監督員との協議により、通常製品(新材で製造された製品)やその他グループに設定されているリサイクル製品へ変更できるものとする。

第9条 低入札となった場合における技術者の増員等

1 入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札した業者が受注者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めるものとする。

(1) 建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合

専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事にあつては監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事にあつては主任技術者になり得る資格を有する者を1人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの工事に配置する技術者は、受注者と3ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。

(2) 建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられていない工事の場合

同法の規定により配置が義務付けられている技術者を専任にて配置するものとする。

2 1の(1)により別に配置される技術者は、監理技術者を補助し、監理技術者と同様の職務を行うものとする。

第10条 施工体制の点検を強化する工事

入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札した者が受注者となった場合は、受注者は工事施工前に、段階確認及び中間検査において発注者が強化するとする事項を監督員に確認しなければならない。

第11条 低入札となった場合における品質管理の試験頻度

入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札した者が受注者となった場合は、富山県土木工事施工管理基準における品質管理基準(一般土木工事品質管理基準)の試験基準欄及び指摘事項欄並びに本特記仕様書の品質管理に関する条項に定める施工に関する試験頻度を2倍とする。

第12条 路盤工(人力施工)

受注者は、路盤の敷均しにあたり、材料の分離に注意し、一層の仕上り厚が15cmを越えないように締固めなければならない。

(工程関係)

第13条 工程関係

1 本工事において、地元住民の交通事情、農繁期における農耕車両の影響など必要に応じて、地元などと工事期間や施工方法について調整を行い、その結果を反映させた

施工方法、工程等とすること。

- 2 工事着手前に地下埋設物等の支障物件について調査し監督員に報告すること。なお、工事に支障がある場合は施工方法、工程等について別途発注者と受注者で協議する。
- 3 工事施工に際しては、予想される地下埋設物の管理者等と現地立会のうえ、当該物件の位置、深さを確認し、保安対策について十分打合せをし、事故の発生を防止すること。

(公害対策関係)

第 14 条 公害対策

工事施工に伴い既設構造物に影響を及ぼす恐れがある場合は監督員と協議し、関係者立会のうえ、事前調査を行い、着工前の状況を写真等で記録すること。

(安全対策関係)

第 15 条 安全対策

- 1 工事の施工にあたっては交通誘導警備員を 2 名配置し、一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工するものとする。なお、警察等関係機関との協議により交通処理方法等の変更が生じた場合は、別途協議により変更する。
- 2 本工事における県道及び国道部分について、路盤のまま交通解放は行わず、舗装復旧工を施工のうえ、交通解放を行うこと。

第 16 条 工事現場における表示施設（工事看板）

平成 24 年 6 月 6 日付けの「工事現場における標示施設等の設置基準(案)」の運用について（上下水道課長通知）に基づくこと。

第 17 条 道路使用許可申請、通行制限許可申請

- 1 道路交通法第 77 条に基づく道路使用許可申請および道路法第 46 条に基づく小矢部市管理道路の通行制限許可申請については受注者が申請すること。
- 2 道路法第 46 条に基づく富山県管理道路の通行制限許可申請については、発注者より申請するため、道路使用許可書および道路使用許可申請書添付書類と同様なものを 6 部提出すること。

(工事用道路関係)

第 18 条 工事用道路関係

運搬路に使用した、既設道路の舗装等の補修が必要となった場合は監督員と協議し、補修しなければならない。

(仮設備関係)

第 19 条 管路土留工

本工事では掘削深 1.5m 以上となる区間において、任意仮設として土留工を設置することとしている。したがって、計上している工法と異なった施工をしても、引取対象物が変わらなければ設計変更の対象とはしないが、掘削深が変更になる等、施工条件が変更になった場合は監督員と協議のうえ変更できるものとする。

工法：軽量鋼矢板土留工法

使用土留：H=3.8m

工法：建て込み土留工法

使用土留：H=4.5m

第 21 条 地下水位低下工

本工事の管路工においては、任意仮設としてウエルポイントによる地下水位低下工を予定しており、下記の条件を想定している。本条件により難しいときは監督員と協議のうえ変更できるものとする。

必要揚水量 426L/min

ウエルポイントの間隔 0.7m

(建設発生土・建設副産物関係)

第 22 条 建設発生土

建設発生土については、一部埋戻しに流用するものとし、その他は片道運搬距離 6km の小矢部市安楽寺地内の公共残土仮置場へ搬出するものとする。なお、受注者の明示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、施設の受入れが困難な場合等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

第 23 条 建設副産物

- 1 本工事は建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律（以下、建設リサイクル法という）の対象建設工事であり、特定建設資材について分別解体等及び再資源化等を実施するものとする。
- 2 受注者は、建設リサイクル法 12 条に基づき、施工計画書に以下の内容を明記し、監督員へ説明するものとする。
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等の構造
 - ・新築工事等である場合は、使用する特定資材の種類
 - ・工事着手時期及び工程の概要
 - ・分別解体の概要
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等に建設資材の量の見込み
- 3 本工事における特定資材の再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

1) 分別解体等の方法

工程	作業内容	分別解体の方法 (解体工事のみ)
工程ごとの作業内容及び解体方法	① 仮設	仮設工事 ■有 □無 □手作業 □手作業・機械作業の併用
	② 土工	土工 ■有 □無 □手作業 □手作業・機械作業の併用
	③ 基礎	基礎工事 □有 □無 □手作業 □手作業・機械作業の併用
	④ 本体構造	本体構造の工事 □有 □無 □手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤ 本体付属品	本体付属品の工事 □有 □無 □手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥ その他	その他の工事 ■有 □無 □手作業 □手作業・機械作業の併用

2) 再資源化等をする特定建設資材廃棄物の種類及び処理量

特定建設資材廃棄物の種類	処理量
コンクリート塊	0m ³
アスファルト塊	9m ³
建設発生木材	0t

コンクリート塊は、径 30cm 程度に破砕するものとする。

4 受注者は、特定建設資材の分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法 18 条に基づき、以下の事項を書面にて記載し、監督員に報告する。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン（富山県土木部）」（平成 14 年 6 月）に定めた様式 1、〔再生資源利用計画書（実施書）〕及び様式 2〔再生資源利用促進計画書（実施書）〕を兼ねるものとする。

- ・再資源化が完了した年月日
- ・再資源化をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化に要した費用

5 受注者は、再資源化施設において適正に処分されていることが確認できる書類（マニフェスト等）を保管しておくこと。監督員からの請求があれば速やかにその写しを提示するものとする。運搬、処理を委託する場合は、産業廃棄物処理業者との委託契約書を監督員に提示するものとする。

第 24 条 再生材の利用

下表の基礎砕石には再生砕石を使用するものとする。品質については、下表の資材は、「コンクリート副産物の再生利用に関する用途品質基準」に基づくものとする。なお、再生砕石の入手が困難な場合は、監督員と協議のうえ砕石（新材）に変更できるものとする。

工 種	品 種	使用箇所
管布設工	RC-40	管路基礎
舗装工	RC-40	下層路盤

第 26 条 舗装切断作業時に発生する排水の処理

舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収し、適正に処理すること。当該排水の処理に関し、排水量に変更が生じた場合、受注者は排水量等を取りまとめの上、監督員と協議を行い契約変更の対象とする。

(その他)

第 29 条 工事写真の撮影

受注者は土木工事共通仕様書(富山県土木部)記載の富山県土木工事写真撮影要領および下水道土木工事必携(案)(日本下水道協会)により工事の施工状況が判明する写真を撮影すること。

第 30 条 公共ます及び取付管設置

公共ます及び取付管の設置位置については、地権者と協議を行い施工すること。また、設置後は公共柵設置確認書の必要事項を記入し、地権者が署名のうえ、完成図書として提出すること。

第 31 条 提出書類

本工事区間の県道・国道の道路管理者の指示により、これらの道路に関する以下の書類提出を求められていることから、完成図書と同時にとりまとめを行い、提出すること。

- ・路体、路床、下層路盤、上層路盤の転圧状況（1 層毎）の写真

- ・ 下層路盤、上層路盤、基層、表層の厚さおよび使用材料を確認できる写真
- ・ 路体、路床、下層路盤、上層路盤、基層、表層の密度試験結果

第 32 条 その他

その他、定めがない事項について疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものとする。

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 適用単価 適用単価地区 単価適用年月日 諸経費体系	0002 上下水道課 実施設計書 当初 0 1 実施単価 07 砺波地区 0-03.03.01(0) 1 公共		
前払率 諸経費工種 労務費補正 電力区分 施工地域区分 寒冷地区分 緊急工事区分 契約保証区分 現場環境改善費 週休2日工事補正 消費税率 (%)	当 世 代 40 18 下水道 (2) 01 割増なし 02 臨時低圧電力 12 補正無し 01 補正なし 00 通常 01 金銭的保証 00 計上しない 00 計上しない 10	前 世 代	

本工事費内訳表

本工事費	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
						X1000
	管路					Y1A01
	管きょ工(開削)〈管径150mm〉					Y2A0101
	管路土工					Y3A010101
	管路掘削					Y4A01010101
	バックホウ床掘 土砂 施工方法 平均施工幅1m以上2m未満		式			SP2010 0 A=1, B=2, C=1, D=1
		75	m3			施工 第0-0001号表
	機械掘削 (バックホウ) バックホウ クレーン1次排対					S6801 0 A=4, B=1
		199	m3			施工 第0-0002号表
	管路埋戻					Y4A01010102
			式			
	機械投入埋戻工 (流用土路体) 流用土					S6807 0 A=4, B=4
		115	m3			施工 第0-0003号表

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
機械投入埋戻工（碎石路床） 再生碎石 RC-40									S6807 0 A=4, B=2, C=1.2	
	42		m ³						施工 第0-0005号表	
発生土処理									Y4A01010103	
				式						
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)									SP2002 0 A=1, B=3, C=1, D=1, I=7	
	147		m ³						施工 第0-0006号表	
処分費等									#0044 A=1, B=1, C=4	
公共用残土仮置場（搬入）安楽寺									TST01 0	
	147		m ³							
管布設工									Y3A010102	
リブ付硬質塩化ビニル管									Y4A01010216	
				式						
リブ付硬質塩化ビニル管設置工 市場単価方式 呼び径 150mm									S6992 0 A=1, B=1, C=1, D=1	
	87		m						施工 第0-0007号表	
継手類									Y4A01010211	
				式						

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
リップ管用マンホール用可とう継手 φ150 PRP φ150 拡張バンドタイプ									T94140	0
	2			個						
管基礎工									Y3A010103	
砕石基礎									Y4A01010302	
				式						
砕石基礎工 市場単価方式 機械施工									S6994	0
	28			m ³					A=2, B=1, C=1, D=1	
									施工	第0-0008号表
再生砕石 RC-40									T4090	0
	33			m ³						
管路土留工									Y3A010105	
軽量鋼矢板土留(H=4.0m)									Y4A01010503	
				式						
軽量鋼矢板建込工 H=4.0m									S6970	0
	88			m					A=6, B=3	
									施工	第0-0009号表
軽量鋼矢板引抜工 H=4.0m									S6971	0
	88			m					A=6, B=1	
									施工	第0-0010号表

小 矢 部

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
土留支保工（軽量金属支保工）設置 切梁材 水圧式パイプサポート 3段 3.8m以下	88		m						S6972 0 A=1, B=1, C=3	施工 第0-0011号表
土留支保工（軽量金属支保工）撤去 切梁材 水圧式パイプサポート 3段 3.8m以下	88		m						S6972 0 A=2, B=1, C=3	施工 第0-0012号表
軽量鋼矢板等賃料 矢板・腹起し・切ばり・水圧ポンプ	1		式						W0001	
地下水低下工									Y3A010110	
ウエルポイント									Y4A01011001	
ウエルポイント工 設置及び撤去	1		式						S7950 0 A=1, B=1, C=125, D=88, E=0, F=1, G=2, H=2, I=29, J=13, K=2	施工 第0-0013号表
発動発電機運転 ディーゼルエンジン駆動									S1720 0 *	A=14, B=24, C=2
管きょ工（小口径推進、管径φ400） 鋼管さや管推進工法									Y2A0105	
鋼製さや管方式									Y3A010502	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
圧入式									Y4A01050202	
				式						
一般構造用炭素鋼管 (STK400) φ 406.4×9.5mm 93.0kg/m									W0001	
	372			kg						
硬質塩化ビニール管 150mm× 5.1mm×4000mm									T9951	0
	1			本						
塩ビスパーサー φ 150									W0003	
	2			個						
サヤ管推進工 φ 400 サヤ管長1.5m/本, D地盤 ケーシングコーン									V8001	0
	4			m					施工	第0-0021号表
排土、坑外ズリ出工 φ 400									V8002	0
				日					施工	第0-0022号表
塩ビ管挿入工 硬質ポリ塩化ビニル管 φ 150以下									V8003	0
	4			m					施工	第0-0024号表
中込め注入工 中込め注入工 φ 300~400									V8004	0
	0.4			m ³					施工	第0-0026号表
推進設備工 φ 400									V8007	0
	1			箇所					施工	第0-0029号表

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
鏡切工 鋼矢板 II型 φ400									V8006	0
	2			箇所					施工	第0-0030号表
鋼管加工費 鋼管切断・開先加工									W0002	
	4			箇所						
リブ受口-VU差口変換継手									TP0003	0
	1			個						
VU差口-リブ受口変換継手									TP0004	0
	1			個						
立坑工									Y2A0105	
管路土工									Y3A010101	
管路掘削									Y4A01010101	
				式						
バックホウ床掘 土砂 施工方法 平均施工幅1m以上2m未満									SP2010	0
	7			m3					A=1, B=2, C=1, D=1	
									施工	第0-0001号表
機械掘削 (バックホウ) バックホウ									S6801	0
クレーン1次排対									A=4, B=1	
	23			m3					施工	第0-0002号表

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
管路埋戻									Y4A01010102	
				式						
機械投入埋戻工（流用土路体） 流用土									S6807 0 A=4, B=4	
	16			m3					施工 第0-0003号表	
機械投入埋戻工（碎石路床） 再生碎石 RC-40									S6807 0 A=4, B=2, C=1.2	
	9			m3					施工 第0-0005号表	
発生土処理									Y4A01010103	
				式						
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)									SP2002 0 A=1, B=3, C=1, D=1, I=7	
	13			m3					施工 第0-0006号表	
処分費等									#0044 A=1, B=1, C=4	
公共用残土仮置場（搬入）安楽寺									TST01 0	
	13			m3						
たて込み簡易土留(H=4.5m)									Y4A01010502	
				式						
たて込み簡易土留 建込工 H=4.5m									S6821 0 A=4.5	
	3			m					施工 第0-0031号表	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
たて込み簡易土留 引抜工 H=4.5m	3		m						S6822 0 A=4.5, B=0	施工 第0-0032号表
たて込み簡易土留賃料 H=4.5m	1		式						W0001	
H形鋼賃料 H形鋼(山留主部材) H-250 使用回数 2回	0.06		t						S9721 0 A=6, E=2, F=1	施工 第0-0034号表
鋼矢板賃料 軽量鋼矢板 II型・III型 使用回数 2回	1		t						S9720 0 A=4, D=2, E=1, G=1	施工 第0-0035号表
マンホール工									Y2A0105	
組立マンホール工									Y3A010502	
組立1号マンホール									Y4A01050202	
組立マンホール設置工 1号(内径900mm) マンホール深さ3m超~4m以下	1		箇所						S6985 0 A=2, B=5, C=2, D=1, E=1	施工 第0-0036号表
マンホール設置工(底部工) 組立式、インバートのみ	1		箇所						S6871 0 A=0, C=0.173, D=1, E=0.713, F=0.02, G=2, H=1	施工 第0-0037号表

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
マンホール設置工 (底部工) 組立式、インバートなし	1			箇所					S6871 0 A=1.4, B=2, C=0.0, E=0.0	
1号マンホール現場削孔費 PRP φ150 PRP φ150	1			箇所					TG3003 0	施工 第0-0041号表
1号 マンホール底版 H=130 外径1100mm H=130mm	1			個					T9351 0	
1号 マンホールく体ブロック H=1800 内径 900mm H=1800mm	1			個					T9358 0	
1号 マンホール直壁 H=900 内径 900mm H=900mm	1			個					T9372 0	
1号 マンホール斜壁 H=450 内径600-900mm H=450mm	1			個					T9399 0	
組立式マンホール調整リング 内径600 H=150 内径 600mm H=150mm	1			個					T9407 0	
組立式マンホール調整金具 45mmまで 調整高 45mmまで	1			組					T9411 0	
マンホール蓋 車道用 T-25(除雪対応型) 次世代型マンホール蓋	1			枚					W0001	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1号マンホール削孔費 PRP φ 150 PRP φ 150									TG3000	0
	1			箇所						
取付管およびます工									Y2A0107	
管路土工									Y3A010701	
管路掘削									Y4A01070101	
				式						
機械掘削 (バックホウ) バックホウ									S6801	0
クレーン1次排対									A=4, B=1	
	5			m3					施工 第0-0002号表	
管路埋戻									Y4A01010102	
				式						
機械投入埋戻工 (碎石路床) 再生碎石 RC-40									S6807	0
									A=4, B=2, C=1.2	
	1			m3					施工 第0-0005号表	
発生土処理									Y4A01010103	
				式						
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)									SP2002	0
									A=1, B=3, C=1, D=1, I=7	
	5			m3					施工 第0-0006号表	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
処分費等									#0044	
									A=1, B=1, C=4	
公共用残土仮置場（搬入）安楽寺									TST01	0
	5			m ³						
ます設置工									Y3A010702	
ます（塩化ビニル製）									Y4A01070201	
ます設置工（塩化ビニル製） 市場単価方式 ます径200mm									S6983	0
									A=2, B=2, C=1, D=1, E=2	
	1			箇所						施工 第0-0042号表
取付管布設工									Y3A010703	
取付管（硬質塩化ビニル管）									Y4A01070301	
取付管布設および支管取付工 市場単価方式 管径100mm									S6984	0
									A=1, B=2, C=1, D=1, E=2, F=1, G=2	
	1			箇所						施工 第0-0043号表
リブ管用ゴム可とう支管継手 φ150-100 φ150-100									T94180	0
	1			個						

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
砂基礎									Y4A01010301	
				式						
砂基礎工 市場単価方式 機械施工									S6993 0 A=2, B=2, C=1, D=1	
	1			m3					施工 第0-0044号表	
砂 (細目・荒目)									T4041 0	
	1			m3						
付帯工									Y2A0109	
舗装撤去工									Y3A010901	
舗装版切断									Y4A01090101	
				式						
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版									SP4028 0 A=1, B=1, E=1	
	196			m					施工 第0-0045号表	
舗装版破碎									Y4A01090102	
				式						
舗装版直接掘削・積込工 アスファルト舗装 アスファルト舗装版 障害等 無し									SP4027 0 A=1, B=1, C=1, D=4, F=1	
	95			m2					施工 第0-0046号表	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
殻運搬処理									Y4A01090104	
				式						
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)	9		m ³						SP2081 0 A=2, B=4, C=1, J=3 施工 第0-0047号表	
As舗装切断排水運搬費 2tダンプトラック運搬	1			式					S5099 0 A=1, B=0.10, C=196, E=23, F=1, G=1 施工 第0-0048号表	
処分費等									#0044 A=1, B=1, C=4	
アスファルト廃材処理費	9		m ³						TAK39 0	
As舗装切断排水	0.6		t						TAC09 0	
舗装仮復旧工(旧B交通)									Y3A010906	
下層路盤									Y4A01090602	
				式						
路盤工(人力施工) 路盤厚35cm 車道	95		m ²						S4015 0 A=2, B=35, C=5 施工 第0-0049号表	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
上層路盤									Y4A01090603	
				式						
路盤工（人力施工） 路盤厚27cm 車道									S4015 0 A=2, B=27, C=4	
	95			m2					施工 第0-0050号表	
表層									Y4A01090605	
				式						
小規模アスファルト舗装（施工費） 施工面積 50m2 ≤ A < 100m2									TA004 0	
	1			箇所						
小規模アスファルト舗装（材料費） 表層工 車道及び路肩									S4038 0 A=2, B=1, C=3, D=3, E=2	
	95			m2					施工 第0-0051号表	
仮設工									Y2A0111	
交通管理工									Y36011325	
交通誘導警備員									Y4601132501	
				式						
交通誘導警備員									S7192 0 A=0, B=2, C=25	
	1			式					施工 第0-0052号表	

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費						
共通仮設費 (率分)						
共通仮設費計			式			
純工事費						
現場管理費						
現場管理費計			式			
工事原価						
一般管理費等						
工事価格			式			

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
消費税等相当額	式	式	式	式	
請負対象工事費					
工事価格計	式	式	式	式	
消費税等相当額計					
請負対象工事費計	式	式	式	式	
	式	式	式	式	
	式	式	式	式	

施工内訳表

SP2010

施工 第0-0001号表

[名称] バックホウ床掘		[規格1] 土砂		[規格2] 施工方法 平均施工幅1m以上2m未満		1	m3	当り
機械構成比: 31.93%		労務構成比: 55.08%		材料構成比: 12.99%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 288.25
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
バックホウ		31.93%		バックホウ			MH108	
特殊運転手		55.08%		運転手(特殊) 東京単価			R2002	
軽油 (パトロール)		12.99%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油			T3002	
積算単価				積算単価			EP001	
A=1 土砂				B=2 平均施工幅1m以上2m未満				
C=1 土留方式 無し				D=1 障害 無し				

施工内訳表

[名称] 機械掘削 (バックホウ)		[規格1] バックホウ		[規格2]		1	m3	当り
名称・規格など	数	量	単位	単価	金額	備考		
土木一般世話役 一般施工			人			R2008		
普通作業員			人			R2006 補助的作業(床均し等)		
バックホウ運転 (クレーン機能付) (機-1)			時間			S1320		
諸雑費	1		式			#90		
1m3当り			m3			+00		
単位当り	1		m3					
A=4 バックホウ				B=1 岩石補正なし				

施工内訳表

[名称] 機械投入埋戻工 (流用土路体)		[規格1] 流用土		[規格2]		100	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
普通作業員		人			R2006 バックホウ投入補助+タンパ締固補助			
バックホウ運転 (クレーン機能付) (機-1) 1次基準排対		時間			S1320			
タンパ締固め	100.00	m3			SP2015	施工 第0-0004号表		
諸雑費	1	式			#90			
合計	100	m3						
単位当り	1	m3						
A=4 バックホウ			B=4	発生土				

施工内訳表

SP2015

施工 第0-0004号表

[名 称] タンパ締固め		[規格 1]		[規格 2]		1	m3	当り
機械構成比: 1.39%		労務構成比: 97.22%		材料構成比: 1.39%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 1,398
代表機材規格	構成比	単 価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考			
タンパ賃料	1.39%		タンパ及びランマ 東京単価 質量60~80kg		T7285			
特殊作業員	51.95%		特殊作業員 東京単価		R2005			
普通作業員	45.27%		普通作業員 東京単価		R2006			
ガソリン JIS2号レギュラ	1.39%		ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド		T3004			
積算単価			積算単価		EP001			

施工内訳表

[名称] 機械投入埋戻工 (碎石路床)		100	m3	当り	
[規格1] 再生碎石 RC-40		[規格2]			
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
普通作業員		人			R2006 バックホウ投入補助+タンパ締固補助
再生碎石 RC-40	120.00	m3			T4090 埋戻し用
バックホウ運転 (クレーン機能付) 1次基準排対 (機-1)		時間			S1320
タンパ締固め	100.00	m3			SP2015 施工 第0-0004号表
諸雑費	1	式			#90
合計	100	m3			
単位当り	1	m3			
A=4 バック材 C=1.2 土量変化率			B=2 再生碎石	RC-40	

施工内訳表

SP2002

施工 第0-0006号表

[名称] 土砂等運搬		[規格2] 土砂(岩塊・玉石混り土含む)		1	m3	当り			
[規格1] 標準		[規格2] 土砂(岩塊・玉石混り土含む)							
機械構成比:	47.71%	労務構成比:	37.09%	材料構成比:	15.20%	市場単価構成比:	0.00%	標準単価:	1,274.6
代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考				
ダンプトラック	47.71%		ダンプトラック		M1450				
一般運転手	37.09%		運転手(一般) 東京単価		R2015				
軽油 (パトロール)	15.20%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002				
積算単価			積算単価		EP001				
A=1 標準			B=3	バックホ山積0.45m3(平積0.35m3)					
C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む)			D=1	DID区間 無し					
I=7 6.0km以下									

施工内訳表

[名称] リブ付硬質塩化ビニル管設置工 [規格1] 市場単価方式		[規格2] 呼び径 150mm		1	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考	
リブ付硬質塩化ビニル管設置工 呼び径 150mm	1.00	m			TH870	
単位当り	1	m				
A=1 呼び径 150mm C=1 時間的制約無			B=1 20m以上 D=1 標準(昼間)			

施工内訳表

[名称] 碎石基礎工 [規格1] 市場単価方式		[規格2] 機械施工				1	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
碎石基礎設置 機械施工	1.00	m3			TH878			
単位当り	1	m3						
A=2 機械施工 C=1 時間的制約無			B=1 10m3以上 D=1 標準(昼間)					

施工内訳表

[名称] 軽量鋼矢板建込工		[規格1] H=4.0m		[規格2]		100	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
特殊作業員		人			R2005			
普通作業員		人			R2006			
バックホウ運転 (機-1) 2次基準排対		時間			S1320			
合計	100	m						
単位当り	1	m						
A=6 3.8m以下			B=3	バックホウ				

施工内訳表

[名称] 軽量鋼矢板引抜工 [規格1] H=4.0m		[規格2]				100	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
特殊作業員		人			R2005			
普通作業員		人			R2006			
トラッククレーン賃料		日			S5326			
諸雑費	1	式			#90			
合計	100	m						
単位当り	1	m						
A=6 3.8m以下 C=0 トラッククレーン賃料補正係数			B=1	トラッククレーン				

施工内訳表

[名称] 土留支保工 (軽量金属支保工) 設置				100	m	当り
[規格1] 切梁材 水圧式パイプサポート				[規格2] 3段 3.8m以下		
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008	
特殊作業員		人			R2005	
普通作業員		人			R2006	
合計	100	m				
単位当り	1	m				
A=1 設置 C=3 3段 3.8m以下			B=1 切梁材	水圧式パイプサポート		

施工内訳表

[名称] 土留支保工 (軽量金属支保工) 撤去				100	m	当り
[規格1] 切梁材 水圧式パイプサポート				[規格2] 3段 3.8m以下		
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008	
特殊作業員		人			R2005	
普通作業員		人			R2006	
合計	100	m				
単位当り	1	m				
A=2 撤去 C=3 3段 3.8m以下			B=1 切梁材	水圧式パイプサポート		

S7950

施工内訳表

施工 第0-0013号表

頁0-0030

[名称] ウェルポイント工		[規格1] 設置及び撤去			[規格2]		1	式	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考			
ウェルポイント設置	125.00	本			S7951	施工 第0-0014号表			
ウェルポイント撤去	125.00	本			S7951	施工 第0-0015号表			
ウェルポイントポンプ設置	1.00	組			S7954	施工 第0-0016号表			
ウェルポイントポンプ撤去	1.00	組			S7954	施工 第0-0017号表			
ウェルポイントポンプ運転管理 ポンプ設置 1~5台	13.00	日			S7955	施工 第0-0018号表			
ウェルポイント損料	1.00	式			S7956	施工 第0-0019号表			
ジェット装置損料	1.00	式			S7957	施工 第0-0020号表			
単位当り	1	式							
A=1 設置及び撤去 C=125 ウェルポイント本数 (本) E=0 腐蝕補正係数			B=1 ウェルポイントポンプ組数 (組) D=88 ヘッダーライン延長 (m) F=1 スターカッター無し						
G=2 サンドフィルター有り I=29 供用日数 K=2 100本以上			H=2 その他 J=13 ポンプ運転日数						

施工内訳表

[名称] ウェルポイント設置 [規格1]		[規格2]				100	本	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
特殊作業員		人			R2005			
普通作業員		人			R2006			
諸雑費		%			#09 トラック運転経費等			
合計	100	本						
単位当り	1	本						
A=1 設置 C=2 サンドフィルター有り			B=2 100本以上 D=2 その他					

施工内訳表

[名称] ウェルポイント撤去 [規格1]		[規格2]				100	本	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
特殊作業員		人			R2005			
普通作業員		人			R2006			
諸雑費		%			#09 トラック運転経費等			
合計	100	本						
単位当り	1	本						
A=2 撤去			B=2	100本以上				

施工内訳表

[名称] ウエルポイントポンプ設置 [規格1]		[規格2]				1	組	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
特殊作業員		人			R2005			
普通作業員		人			R2006			
諸雑費		%			#09 トラック（クレーン装置付）運転経費等			
単位当り	1	組						
A=1 ウエルポイントポンプ設置								

施工内訳表

[名称] ウエルポイントポンプ撤去 [規格1]		[規格2]				1	組	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
特殊作業員		人			R2005			
普通作業員		人			R2006			
諸雑費		%			#09 トラック（クレーン装置付）運転経費等			
単位当り	1	組						
A=2 ウエルポイントポンプ撤去								

施工内訳表

[名称] ウェルポイントポンプ運転管理						1	日	当り
[規格1] ポンプ設置 1~5台				[規格2]				
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
特殊作業員		人			R2005			
諸雑費		%			#09			
単位当り	1	日						
A=1 ポンプ使用組数(組)			B=2 その他					

施工内訳表

[名称] ウエルポイント損料 [規格1]		[規格2]				1	式	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
ウエルポイントポンプ損料	29.00	日						
ウエルポイントポンプ損料 1 現場当り損料	1.00	組			K2451			
ウエルポイント損料	29.00	日						
ウエルポイント損料 1 現場当り損料	125.00	本			K2453			
ヘッダーライン損料	29.00	日						
ヘッダーライン損料 1 現場当り損料	88.00	m			K2455			
諸雑費	1	式			#90			
単位当り	1	式						
A=29 供用日数 (日) C=125 ウエルポイント本数 (本) E=0 腐触補正係数			B=1 D=88	ウエルポイントポンプ組数 ヘッダーライン延長 (m)	(組)			

施工内訳表

[名称] ジェット装置損料 [規格1]			[規格2]		1	式 当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
ジェット装置損料 供用1カ月 1組当り損料		日			K2456	
ジェット装置損料 1現場当り損料	1.00	組			K2457	
諸雑費	1	式			#90	
単位当り	1	式				
B=1 スターカッター無し						

施工内訳表

[名称] サヤ管推進工 [規格1] φ400		[規格2] サヤ管長1.5m/本, D地盤				1	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
軽油 (パトロール)		L			T3002			
軽油 (パトロール)		L			T3002			
油脂類	1	式			W0001 軽油金額の50%計上			
グランドオイル		L			W0001			
溶接棒 D4301 軟鋼用4-5mm	1.23	kg			T3247			
酸素 圧縮ボンベ	0.08	m ³			T3147			
アセチレン	0.04	kg			T3148			
雑材料	1	式			W0001 溶接棒の50%+アセチレンの50%計上			
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
特殊作業員		人			R2005			
普通作業員		人			R2006			
溶接工		人			R2018			

施工内訳表

[名称] サヤ管推進工 [規格1] φ400		[規格2] サヤ管長1.5m/本, D地盤				1	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
トラッククレーン賃料		日			T7041			
推進工機械器具損料 推進機 M型		日			W0001			
推進工機械器具損料 φ400 ケーシングユーン	1	m			W0002			
単位当り	1	m						

施工内訳表

[名称] 排土、坑外ズリ出工 [規格1] φ400		[規格2]				1	日	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
特殊作業員		人			R2005			
普通作業員		人			R2006			
自走式排土バケット損料	1	式			W0001			
ウインチ運転 (機-25)		日			S1845		施工 第0-0023号表	
発動発電機運転 ディーゼルエンジン駆動		日			S1720			
空気圧縮機運転 第1次排対 (機-12)		日			S1147			
単位当り	1	日						

施工内訳表

[名称] ウインチ運転 [規格1]	[規格2] (機-25)				1	日 当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考	
ウインチ 開放型 (電動) ・単胴		供用日			M2310	
単位当り	1	日				
A=1 機械損料数量						

V8003

施工内訳表

施工 第0-0024号表

頁0-0042

[名称] 塩ビ管挿入工 [規格1] 硬質ポリ塩化ビニル管 φ150以下		[規格2]		21	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考	
軽油 35KVA発電機		L			W0001	
油脂類	1	式			W0001 軽油金額の50%計上	
土木一般世話役 一般施工		人			R2008	
特殊作業員		人			R2005	
普通作業員		人			R2006	
トラック（クレーン装置付）運転 （機-1）		時間			S1002	
塩ビ管挿入工機械器具損料		日			V8013	施工 第0-0025号表
合計	21	m				
単位当り	1	m				

小 矢 部

V8013

施工内訳表

施工 第0-0025号表

頁0-0043

[名称] 塩ビ管挿入工機械器具損料		[規格2]				1	日	当り			
[規格1] 名称・規格など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
ウインチ運転					日					S1845	施工 第0-0023号表
(機-25)											
レバーブロック損料					日					W0001	
発動発電機運転					日					S1720	
ディーゼルエンジン駆動											
単位当り		1			日						

施工内訳表

[名称] 中込め注入工 [規格1] 中込め注入工 φ300~400		[規格2]				1	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
特殊作業員		人			R2005			
普通作業員		人			R2006			
セメント(普通ポルトランド) 袋物 JISR-5210	2.61	t			T3265			
ベントナイト 25kg/袋	0.408	t			T3052			
グラウトポンプ運転 (機-25)		日			S1354	施工 第0-0027号表		
グラウトミキサ運転 (機-25)		日			S1309	施工 第0-0028号表		
発動発電機運転 ディーゼルエンジン駆動		日			S1720			
単位当り	1	m3						

施工内訳表

[名称] グラウトポンプ運転 [規格1]		[規格2] (機-25)				1	日	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
グラウトポンプ		供用日			M1348			
単位当り	1	日						
A=1 機械損料数量								

施工内訳表

[名称] グラウトミキサ運転 [規格1]		[規格2] (機-25)			1	日	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考		
グラウトミキサ		日			M1341		
単位当り	1	日					
A=1 機械損料数量							

施工内訳表

[名称] 推進設備工 [規格1] φ400		[規格2]				1	箇所	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
軽油 (パトロール)		L			T3002			
油脂類	1	式			W0001 軽油金額の50%計上			
溶接棒 D4301 軟鋼用4-5mm	1.5	kg			T3247			
酸素 圧縮ボンベ	4.5	m3			T3147			
アセチレン	2.3	kg			T3148			
雑材料	1	式			W0001 溶接棒の50%+アセチレンの50%計上			
電気溶接機損料		日			W0001			
計測器損料		日			W0001			
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
ラフテレーンクレーン賃料		日			T7081			
特殊作業員		人			R2005			
普通作業員		人			R2006			

施工内訳表

[名称] 推進設備工 [規格1] φ400					1	箇所 当り
名称・規格など	数量	単位	[規格2] 単価	金額	備考	
とび工		人			R2011	
溶接工		人			R2018	
単位当り	1	箇所				

施工内訳表

[名称] 鏡切工 [規格1] 鋼矢板 II型 φ400 名称・規格など	数量	単位	[規格2] 単価	金額	備考 1 箇所 当り
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
溶接工		人			R2018
普通作業員		人			R2006
諸雑費	10				#01
単位当り	1	箇所			

施工内訳表

[名称] たて込み簡易土留 建込工 [規格1] H=4.5m		[規格2]				10	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
バックホウ運転 (クレーン機能付) 1次基準排対 (機-1)		時間			S1320			
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
特殊作業員		人			R2005			
普通作業員		人			R2006			
諸雑費	1	式			#90			
合計	10	m						
単位当り	1	m						
A=4.5 掘削深 (m)								

施工内訳表

[名称] たて込み簡易土留 引抜工 [規格1] H=4.5m		[規格2]				10	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
ラフテレーンクレーン賃料		日			S5327	施工 第0-0033号表		
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
特殊作業員		人			R2005			
普通作業員		人			R2006			
諸雑費	1	式			#90			
合計	10	m						
単位当り	1	m						
A=4.5 掘削深 (m)			B=0	クレーン賃料補正係数				

施工内訳表

[名称] ラフテレーンクレーン賃料 [規格1]		[規格2]				1	日	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
ラフテレーンクレーン賃料		供用日			T7084			
単位当り	1	日						
A=4			B=0	賃料補正係数				

施工内訳表

[名 称] H形鋼賃料					1	t	当り
[規格1] H形鋼 (山留主部材) H-250			[規格2] 使用回数	2回			
名 称 ・ 規 格 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備	考	
H形鋼賃料 (山留主部材) 250-400型 1-3箇月	1.00	式			T7145		
H形鋼修理費及び損耗費 H-250	1.00	式			T1042 使用回数による補正		
単位当り	1	t					
A=6 F=1 H形鋼 (山留主部材) H-250 修理費及び損耗費計上する			E=2	使用回数 2回			

施 工 内 訳 表

[名 称] 鋼矢板賃料 [規格1] 軽量鋼矢板 II型・III型	数 量	単 位	[規格2] 使用回数 2回	金 額	備 考
名 称 ・ 規 格 な ど			単 価		
鋼矢板賃料 軽量 1-3箇月	1.00	式			T7104
鋼矢板修理費及び損耗費 1型、2型、3型	1.00	式			T1024 使用回数による補正
単位当り	1	t			
A=4 軽量鋼矢板 II型・III型 E=1 修理費及び損耗費計上する			D=2 使用回数 2回 G=1 補助工法 無		

施工内訳表

[名称] 組立マンホール設置工 [規格1] 1号(内径900mm)		[規格2] マンホール深さ3m超~4m以下				1	箇所	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ 3m超~4m以下	1.00	箇所			TH275			
単位当り	1	箇所						
A=2 1号(内径900mm) C=2 4箇所未満 E=1 標準(昼間)			B=5 3m超~4m以下 D=1 時間的制約無					

施工内訳表

[名称] マンホール設置工 (底部工)		[規格1] 組立式、インバートのみ		[規格2]		1	箇所	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 人力打設	0.17	m3			SP2082	施工	第0-0038号表	
モルタル上塗工	0.71	m2			S6841	施工	第0-0039号表	
単位当り	1	箇所						
A=0 砕石基礎数量 (m3/箇所)			C=0.173	インバートコンクリート数量 (m3/箇所)				
D=1 一般養生			E=0.713	モルタル上塗数量 (m2/箇所)				
F=0.02 モルタル量 (m3/m2)			G=2	普通				
H=1 生コン小型車割増なし								

施工内訳表

SP2082

施工 第0-0038号表

[名称] コンクリート		[規格1] 無筋・鉄筋構造物		[規格2] 人力打設		1	m3	当り
機械構成比: 0.00%		労務構成比: 31.87%		材料構成比: 68.13%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 22,622
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考			
普通作業員	15.01%		普通作業員 東京単価		R2006			
特殊作業員	8.45%		特殊作業員 東京単価		R2005			
土木一般世話役 一般施工	6.19%		土木一般世話役 東京単価		R2008			
その他(労務)			その他(労務)		ER009			
生コンクリート 18- 8-40 W/C≤65%	68.13%		生コンクリート 東京単価 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		T4014			
積算単価			積算単価		EP001			
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=23 18- 8-40 W/C≤65% G=2 現場内小運搬 無し			B=4 人力打設 E=2 一般養生 L=1 生コン小型車割増なし					

施工内訳表

[名称] モルタル上塗り [規格1]		[規格2]				1	m2	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
モルタル練 混合比 1 : 2	0.02	m3			SP2083	施工 第0-0040号表		
左官		人			R2038			
普通作業員		人			R2006			
諸雑費	1	式			#90			
単位当り	1	m2						
A=0.02 モルタル量 (m3/m2) C=1 普通			B=2 1 : 2					

施工内訳表

SP2083

施工 第0-0040号表

[名称] モルタル練		[規格1] 混合比 1 : 2		[規格2]		1	m3	当り
機械構成比: 0.00%		労務構成比: 61.62%		材料構成比: 38.38%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 44,520
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考			
普通作業員	61.62%		普通作業員 東京単価		R2006			
セメント(普通ポルトランド) 袋物 JISR-5210	28.46%		セメント 東京単価 高炉B 25kg袋入		T3265			
砂 (細目・荒目)	9.92%		砂 東京単価 細目(洗い)		T4041			
積算単価			積算単価		EP001			
A=1 普通			B=2 1 : 2					

施工内訳表

[名称] マンホール設置工 (底部工)						1	箇所	当り
[規格1] 組立式、インバートなし		[規格2]						
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
再生碎石 RC-40	1.68	m3			T4090			
単位当り	1	箇所						
A=1.4 C=0	碎石基礎数量 (m3/箇所) インバートコンクリート数量 (m3/箇所)		B=2 E=0	再生碎石 モルタル上塗数量 (m2/箇所)				

施工内訳表

[名称] ます設置工 (塩化ビニル製)		[規格 2] ます径200mm				1	箇所	当り
[規格 1] 市場単価方式								
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
ます設置工 (塩化ビニル製) ます (径200)	1.00	箇所			TH242			
単位当り	1	箇所						
A=2 ます径200mm C=1 時間的制約無 E=2 鋳鉄製防護蓋を設置しない			B=2 5箇所未満 D=1 標準 (昼間)					

施工内訳表

[名称] 取付管布設および支管取付工 [規格1] 市場単価方式		[規格2] 管径100mm		1	箇所	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
取付管布設工および支管取付工 管径100	1.00	個所			TH245	
単位当り	1	箇所				
A=1 管径100mm C=1 時間的制約無 E=2 取付管長5m以上12m未満 G=2 可とう性支管を設置しない			B=2 5箇所未満 D=1 標準(昼間) F=1 コンクリート製・陶製以外			

施工内訳表

[名称] 砂基礎工						1	m3	当り
[規格1] 市場単価方式		[規格2] 機械施工						
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
砂基礎設置 機械施工	1.00	m3			TH876			
単位当り	1	m3						
A=2 機械施工 C=1 時間的制約無			B=2 10m3未満 D=1 標準(昼間)					

施工内訳表

SP4028

施工 第0-0045号表

[名称] 舗装版切断 アスファルト舗装版		[規格1] アスファルト舗装版		[規格2]		1	m	当り
機械構成比: 6.29%		労務構成比: 54.24%		材料構成比: 39.47%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 558.1
代表機	材規格	構成比	単価	代表機	材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
コンクリートカッタ		4.25%		コンクリートカッタ			M2002	
その他(機械)				その他(機械)			EK009	
特殊作業員		18.90%		特殊作業員 東京単価			R2005	
土木一般世話役 一般施工		9.56%		土木一般世話役 東京単価			R2008	
普通作業員		8.20%		普通作業員 東京単価			R2006	
その他(労務)				その他(労務)			ER009	
ダイヤモンドブレード 径56cm		36.63%		コンクリートカッタ (ブレード) 東京単価 径22インチ			T3663	
ガソリン JIS2号レギュラ		1.92%		ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド			T3004	
その他(材料)				その他(材料)			EZ009	
積算単価				積算単価			EP001	
A=1 E=1	アスファルト舗装版 全ての費用			B=1 15cm以下				

施工内訳表

SP4027

施工 第0-0046号表

[名称] 舗装版直接掘削・積込工 アスファルト舗装		[規格1] アスファルト舗装版		[規格2] 障害等 無し		1	m2	当り
機械構成比: 9.77%		労務構成比: 81.96%		材料構成比: 8.27%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 166.23
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
バックホウ賃料		9.77%		バックホウ(クローラ型)			T7275	
				東京単価				
				山積0.45m ³ (平積0.35m ³)				
土木一般世話役		29.03%		土木一般世話役			R2008	
一般施工				東京単価				
特殊運転手		28.06%		運転手(特殊)			R2002	
				東京単価				
普通作業員		24.87%		普通作業員			R2006	
				東京単価				
軽油	(パトロール)	8.27%		軽油			T3002	
				東京単価				
				1.2号 パトロール給油				
積算単価				積算単価			EP001	
A=1	アスファルト舗装版			B=1	障害等 無し			
C=1	騒音振動対策 不要			D=4	15cm以下			
F=1	積込作業 有り							

施工内訳表

SP2081

施工 第0-0047号表

[名称] 殻運搬		[規格1] 舗装版破碎		[規格2] 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)		1	m3	当り
機械構成比: 47.71%		労務構成比: 37.09%		材料構成比: 15.20%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 2,140.2
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
ダンプトラック		47.71%		ダンプトラック			M1450	
一般運転手		37.09%		運転手(一般) 東京単価			R2015	
軽油 (パトロール)		15.20%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油			T3002	
積算単価				積算単価			EP001	
A=2 C=1	舗装版破碎 DID区間 無し			B=4 J=3	機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) 3.5km以下			

施工内訳表

[名称] As舗装切断排水運搬費				1	式	当り
[規格1] 2tダンプトラック運搬				[規格2]		
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考	
ダンプトラック運転 (機-22)		日			S1032	
単位当り	1	式				
A=1 当初 C=196 舗装版切断延長 1 (m) F=1 DID区間なし			B=0.1 アスファルト又はコンクリートの切断平均深さ t (m) E=23 片道運搬距離 L (km) G=1 良好			

施工内訳表

[名称] 路盤工 (人力施工)				100	m2	当り
[規格1] 路盤厚35cm		[規格2] 車道				
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
普通作業員		人			R2006	
再生砕石 RC-40	44.45	m3			T4090	
タンパ運転 (機-23)		日			S1235	
諸雑費	1	式			#90	
合計	100	m2				
単位当り	1	m2				
A=2 車道 C=5 再生砕石 RC-40			B=35 仕上り厚 (cm)			

施工内訳表

[名称] 路盤工 (人力施工)				100	m2	当り
[規格1] 路盤厚27cm		[規格2] 車道				
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
普通作業員		人			R2006	
粒調碎石 M40	34.29	m3			T4051	
タンパ運転 (機-23)		日			S1235	
諸雑費	1	式			#90	
合計	100	m2				
単位当り	1	m2				
A=2 車道 C=4 粒調碎石 M-40			B=27 仕上り厚 (cm)			

S4038

施工内訳表

施工 第0-0051号表

頁0-0070

[名 称] 小規模アスファルト舗装 (材料費)		[規格 2] 車道及び路肩				1	m2	当り
[規格 1] 表層工								
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単	価	金 額	備 考		
アスファルト合材 再生材入り 密粒度 AC 13FA	0.08	t				T3922		
アスファルト乳剤 PK-3		L				T3019		
単位当り	1	m2						
A=2 表層工 C=3 舗装厚 (cm) E=2 プライムコート			B=1 車道及び路肩 D=3 密粒度 AC 13FA					

施工内訳表

[名称] 交通誘導警備員 [規格1]		[規格2]				1	式	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
交通誘導警備員B		人			R2053			
単位当り	1	式						
A=0 交通誘導警備員A 配置人員(人) C=25 必要日数(日)			B=2	交通誘導警備員B 配置人員(人)				

機 労 材 集 計 表

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	K2451	195		1	ウエルポイントポンプ損料	コンプレ等損料
2	K2453	195		125	ウエルポイント損料	コンプレ等損料
3	K2455	195		88	ヘッダーライン損料	コンプレ等損料
4	K2456	195		2.63	ジェット装置損料	コンプレ等損料
5	K2457	195		1	ジェット装置損料	コンプレ等損料
6	K2541	198			タイヤ損耗費及び修理費	消耗品費
7	M1021	191			ダンプトラック	運搬機械等損料
8	M1232	193			ランマ	路盤舗装等損料
9	M1321	191			トラック	運搬機械等損料
10	M1341	192			グラウトミキサ	基礎等機械損料
11	M1348	192			グラウトポンプ	基礎等機械損料
12	M2310	195			ウインチ 開放型（電動）・単胴	コンプレ等損料
13	M2814	196			発動発電機	電気機器等損料
14	M2815	196			発動発電機	電気機器等損料
15	MH140	190			バックホウ	掘削積込機損料
16	MH613	195			空気圧縮機	コンプレ等損料
17	MHH107	190			バックホウ	掘削積込機損料
18	R2002	18			特殊運転手	特殊運転手
19	R2005	11			特殊作業員	特殊作業員
20	R2006	12			普通作業員	普通作業員
21	R2008	25			土木一般世話役	一般土木世話役
22	R2011	15			とび工	とび工
23	R2015	19			一般運転手	一般運転手
24	R2018	38			溶接工	機械工
25	R2038	31			左官	左官工
26	R2053	37			交通誘導警備員B	その他労務
27	T1024	180		1	軽量鋼矢板整備費	仮設材損料
28	T1042	180		0.06	鋼製山留材整備費	仮設材損料
29	T3002	66			軽油	軽油
30	T3004	65			ガソリン	ガソリン
31	T3019	78			アスファルト乳剤	アス乳剤
32	T3052	86		0.1632	ベントナイト	セメント混和剤
33	T3147	68		4.82	酸素	プロパンガス等
34	T3148	68		2.46	アセチレン	プロパンガス等
35	T3247	198		6.42	溶接棒	消耗品費
36	T3265	85		1.044	セメント(普通ポルトランド)	セメント(袋物)

機 労 材 集 計 表

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
37	T3922	72		7.6	アスファルト合材 再生材入り	密粒13~20F
38	T4041	50		1	砂	砂
39	T4051	53		32.5755	粒調碎石	粒度調整碎石
40	T4090	52		139.3075	再生碎石	クラッシュラン
41	T7041	44			トラッククレーン賃料	建設機械賃料
42	T7081	44			ラフテレーンクレーン賃料	建設機械賃料
43	T7084	44			ラフテレーンクレーン賃料	建設機械賃料
44	T7104	180			鋼矢板賃料	仮設材損料
45	T7145	180			H形鋼賃料 (山留用主部材)	仮設材損料
46	T9351	186		1	1号 マンホール底版	マンホール
47	T9358	186		1	1号 マンホールく体ブロック	マンホール
48	T9372	186		1	1号 マンホール直壁	マンホール
49	T9399	186		1	1号 マンホール斜壁	マンホール
50	T9407	186		1	組立式マンホール調整リング	マンホール
51	T9411	186		1	組立式マンホール調整金具	マンホール
52	T9951	167		1	硬質塩化ビニール管	塩ビ管、ポリ管
53	TA004	200		1	小規模アスファルト舗装 (施工費)	
54	TAC09	189		0.6	As舗装切断排水	投棄料
55	TAK39	189		9	アスファルト廃材処理費	投棄料
56	TH242	200		1	ます設置工 (塩化ビニル製)	
57	TH245	200		1	取付管布設工および支官取付工	
58	TH275	999		1	組立マンホール設置工 1号	その他
59	TH870	200		87	リブ付硬質塩化ビニル管設置工	
60	TH876	200		1	砂基礎設置	
61	TH878	200		28	碎石基礎設置	
62	TST01	189		165	公共用残土仮置場 (搬入)	投棄料
63	WXXXX	966				
64	WXXXX	968				
65	WXXXX	986				

参考様式

工事数量総括表

工種(レベル2)	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
種別(レベル3)						
細別(レベル4)						
施工名称						
管きょ工(開削, 管径150mm)		式		1		
管路土工		式		1		
管路掘削		式		1		
バックホウ床掘	土砂, 平均施工幅1m以上2m未満	m3		75		
機械掘削工	BH0.45m ³	m3		199		
管路埋戻		式		1		
機械投入埋戻工(流用土路体)	流用土	m3		115		
機械投入埋戻工(砕石路床)	再生砕石RC-40	m3		42		
発生土処理		式		1		
土砂等運搬	標準, 土砂	m3		147		
公共残土仮置場(搬入)	小矢部市 安楽寺	m3		147		
管布設工		式		1		
リフ付硬質塩化ビニル管		式		1		
リフ付硬質塩化ビニル管設置工	φ150	m		87		
継手類		式		1		
リフゴム可とうマンホール継手	PRPφ150 拡張バンドタイプ	個		2		
管基礎工		式		1		
砕石基礎		式		1		
砕石基礎工	機械施工 再生砕石RC-40	m3		28		
再生砕石	RC-40	m3		33		
管路土留工		式		1		
軽量鋼矢板土留(H=4.0m)		式		1		
軽量鋼矢板建込工	H=4.0m	m		88		
軽量鋼矢板引抜工	H=4.0m	m		88		
土留支保工(軽量金属支保工)設置	切梁材 水圧式ベイクボート3段4.0m以下	m		88		
土留支保工(軽量金属支保工)撤去	切梁材 水圧式ベイクボート3段4.0m以下	m		88		
軽量鋼矢板等賃料	矢板, 腹起し, 切梁, 水圧ボンプ	式		1		
地下水水位低下工		式		1		
ウェルポイント		式		1		
ウェルポイント工	設置及び撤去	式		1		
管きょ工(小口径推進, 管径φ400、鋼管さや管推進工法)		式		1		
鋼製さや管方式		式		1		
圧入方式		式		1		
一般構造用炭素鋼鋼管	φ406.4×9.5mm	kg		372		
硬質塩化ビニール管	φ150	本		1		
スペーサー	φ150	個		2		
さや管推進工		m		4		
排土、坑外ズリ出工		m		4		
残土処分工		m3		1		
塩ビ管挿入工		m		4		

	中込注入工		m3		0.4	
	推進設備工		回		1	
	鏡切工		ヶ所		2	
	リップ受口-VU差口変換継手		個		1	
	VU受口-リップ差口変換継手		個		1	
立杭工			式		1	
管路土工			式		1	
管路掘削			式		1	
バックホウ床掘	土砂, 平均施工幅1m以上2m未満		m3		7	
機械掘削工	BH0.45m ³		m3		23	
管路埋戻			式		1	
機械投入埋戻工 (流用土路体)	流用土		m3		16	
機械投入埋戻工 (砕石路床)	再生砕石RC-40		m3		9	
発生土処理			式		1	
土砂等運搬	標準, 土砂		m3		13	
公共残土仮置場 (搬入)	小矢部市 安楽寺		m3		13	
土留工			式		1	
たて込み簡易土留 (H=4.5m)			式		1	
たて込み簡易土留 建込工	H=4.5m		m		3	
たて込み簡易土留 引抜工	H=4.5m		m		3	
たて込み簡易土留 賃料	H=4.5m		式		1	
H形鋼賃料 (100*100)			式		1	
軽量鋼矢板等賃料 (H=4.5m)	矢板, 腹起し, 切梁, 水圧ポンプ		式		1	
マンホール工			式		1	
組立マンホール工			式		1	
組立1号マンホール			式		1	
組立マンホール設置工	1号, マンホール深さ3m超~4m以下		箇所		1	
マンホール設置工 (底部工)	組立式, インバートなし		箇所		1	
マンホール設置工 (底部工)	組立式, インバートのみ		箇所		1	
1号マンホール現場削孔費	PRP φ150, 削孔径φ262		箇所		1	
1号マンホール底版	H=130mm, 外径1300mm		個		1	
1号マンホールく体ブロック	H=1800mm, φ900mm		個		1	
1号マンホール直壁	H=900mm, φ900mm		個		1	
1号マンホール斜壁	H=450mm, φ600~900mm		個		1	
組立式マンホール調整リング	H=150mm, φ600mm		個		1	
組立式マンホール調整金具	調整高45mmまで		組		1	
マンホール蓋 車道用T-25 (ノンステップ型)	φ600, 車道用T-25 (除雪対応型), 受枠込		組		1	
1号マンホール削孔費 PRP φ150	φ262 工場削孔		箇所		1	
取付管およびます工			式		1	
管路土工			式		1	
管路掘削			式		1	
機械掘削工	BH0.45m ³		m3		5	
管路埋戻			式		1	
機械投入埋戻工 (砕石路床)	再生砕石RC-40		m3		1	
発生土処理			式		1	
土砂等運搬	標準, 土砂		m3		5	

	公共残土仮置場（搬入）	小矢部市 安楽寺	m3		5	
ます設置工			式		1	
ます（塩化ビニル製）			式		1	
ます設置工（塩化ビニル製）	ます径200mm		箇所		1	
取付管布設工			式		1	
取付管（硬質塩化ビニル管）			式		1	
取付管布設及び支管取付工	取付管長5m以上12m未満		箇所		1	
リブ管用ゴム可とう支管継手	φ150-100		個		1	
砂基礎			式		1	
砂基礎工	機械施工 砂		m3		1	
砂	細目・荒目		m3		1	
付帯工			式		1	
舗装撤去工			式		1	立坑工部含み
舗装版切断			式		1	
舗装版切断	アスファルト舗装		m		196	
舗装版破碎			式		1	
舗装版直接掘削・積込工	アスファルト舗装		m2		95	
殻運搬処理			式		1	
殻運搬	舗装版破碎、機械積込		m3		9	
As舗装切断排水運搬費	2tダンプトラック		式		1	
アスファルト廃材処理費	掘削、石黒工建(株)		m3		9	
As舗装切断排水	(株)高岡市衛生公社		t		0.6	
舗装仮復旧工（旧B交通）	1000>T≥250		式		1	立坑工部含み
下層路盤			式		1	
路盤工（人力施工）	RC-40, t=35cm, 施工幅1.6m未満		m2		95	
上層路盤			式		1	
路盤工（人力施工）	M-40, t=27cm, 施工幅1.6m未満		m2		95	
表層			式		1	
表層（車道・路肩部）	1層当り平均仕上り厚30mm		m2		95	
仮設工			式		1	
交通管理工			式		1	
交通誘導警備員			式		1	
直接工事費			式		1	
共通仮設費			式		1	
技術管理費			式		1	
共通仮設費（率分）			式		1	
純工事費			式		1	
現場管理費			式		1	
工事原価			式		1	
一般管理費等			式		1	
工事価格			式		1	
消費税相当額			式		1	
工事費			式		1	

1号マンホール数量計算書

補助路線

路線 番号	マン ホー ル 番 号	マン ホー ル 深 m	マン ホ ー 底 版 深 m	マンホールブロック																			鉄蓋		底 部 工 ケ所	削孔工		副管工		ブロック 据付高(m)			備 考	
				調 整 金 具		調 整 リ ン グ			片 斜 壁			直 壁						軀 体 部						H= 11cm		T-14 T-25	管 径 mm	箇 所 数 ヶ所	高 さ m	箇 所 数 ヶ所	1.20 ~ 3.00	3.01 ~ 4.00		4.01 ~ 5.00
				25 mm	45 mm	H= 5 cm	H= 10 cm	H= 15 cm	H= 30 cm	H= 45 cm	H= 60 cm	H= 30 cm	H= 60 cm	H= 90 cm	H= 120 cm	H= 150 cm	H= 180 cm	H= 60 cm	H= 90 cm	H= 120 cm	H= 150 cm	H= 180 cm	H= 13 cm											
				個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個		組	組	ヶ所	mm	ヶ所	m	ヶ所		ヶ所
	M331-2	3.263	3.563	1				1		1											1	1								1		補助		
	M331-1																						1	現場削孔 φ150	1						補助			
計				1				1		1											1	1		φ100 φ150	1					1				

公共枺及び取付管数量計算表

補助路線

路線 番号	マンホール 番号	本管		取付管		公共枺		築掘		平均掘削 深	舗装 種別	掘削 深さ (m)	掘削 土量 (m3)	埋戻土				残 土	汚水枺				取付管		備 考													
		管 径	掘 削 深	管 径	深 さ	深 さ	箇所 数	掘削 深	延 長					延 長	種 別	表層 全層	砂基礎		在来土		戻路床		管 布 設 工 底 部			立 管		枺 蓋										
																	川		山	深さ (m)	土 量	深さ (m)	土 量	H<2.0		2.0≤H	標 準	底 抜き	個	個	管 径	m	個	個	片 受 直 管 本	角 度	個	個
																	砂		砂	1ヶ所 当たり 土量 (m3)	m3	1ヶ所 当たり 土量 (m3)	m3	m		m	(ST)	(DR)	m	m	m	m	個	個	m	m	度	個
M331-2	PRP 150	1.37	VU 100	1.15	1.10	1	1.25	6.65	6.18	1.31	B交通	0.10	1.21 5.018	5.02	1.07			0.346 1.384	1.38	5.02	6.65		1			0.90	1		2.0	75	1	1	補助					
M331-1	PRP 150											0.65																					補助					
	PRP 150																																					
	PRP 150																																					
	PRP 150																																					
	PRP 150																																					
	PRP 150																																					
	PRP 150																																					
	PRP 150																																					
	PRP 150																																					
	PRP 150																																					
	PRP 150																																					
計						1		6.65					掘削土量 5.0	川砂 1.1	山砂 		在来土 		路床 1.4	残土 5.0	6.65		1		φ100 φ200 0.90 φ300					30 75 90	1		1					

上段：道路左側
下段：道路右側

ウエルポイントの計算

路線	331	ボーリング資料	R2 年度 No 1孔
管径	150 mm		

1. 設計条件

透水係数	: K	1.47×10^{-4} m/s = 0.014700 cm/s	= 0.008820 m/分
地下水位	: GL	- 2.00 m	
不透水層位	: GL	- 10.00 m (推定)	
施工区間	: L1	50 m	
平均掘削深	: h	3.38 m	
掘削幅	: L2	0.95 m	
土質	:	砂礫	
1本当り揚水量	q	6	ℓ/分 (表-3 参照)

H=自由水の滞水層厚 $10.00 \text{ m} - 2.00 \text{ m} = 8.00 \text{ m}$

h=低下後の水深 6.12 m (平均掘削深+0.50m)

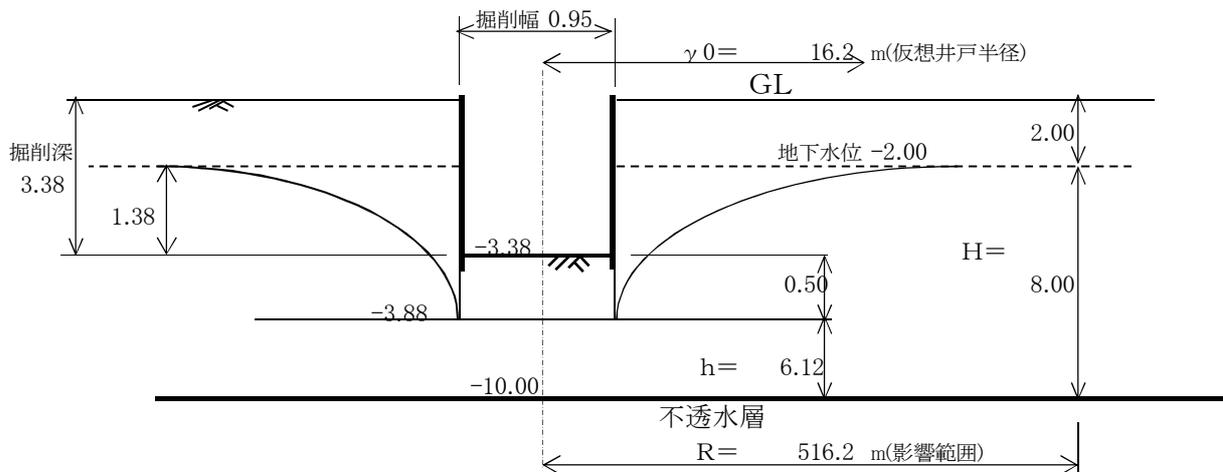
$\gamma 0 = \text{井戸の半径} = 2(L1+L2)/2\pi = 16.2 \text{ m}$
仮想井戸半径(対象域が細長い場合)

L1=施工延長 50 m
 L2=掘削幅 0.95 m

R = 影響範囲 = $150 + \gamma 0 = 500 \text{ m} + 16.2 \text{ m} = 516.2 \text{ m}$
(表-2参照)

2. 揚水量 Q (m³/分)

排水量の算定は大口径の井戸と仮定し、その井戸から揚水量のテーム平衡式によって求める。



$$Q = \frac{(H^2 - h^2) \cdot \pi \cdot K}{2.3 \cdot \log(R / \gamma 0)} \quad (\text{自由地下水}) \quad (\text{テームの平衡式})$$

$$= \frac{0.7352}{3.4558} \text{ m}^3/\text{分} = 213.0 \text{ ℓ/分}$$

3. ウェルポイントの本数 n (本)

$$n = 2 \cdot Q / q = 426.0 \text{ ㍀/分} \div 6 \text{ ㍀/分} = 71 \text{ 本}$$

n : ウェルポイントの本数

Q : 計算で求めた揚水量(㍀/分)

q : ウェルポイント1本当りの揚水量 (約 6 ㍀/分)

4. ウェルポイントの間隔 a (m)

$$a = L1 / n = 50 \text{ m} \div 71 \text{ 本} = 0.7 \text{ m}$$

(但し、ウェルポイントの打設間隔は $0.50\text{m} \leq a \leq 2.00\text{m}$ であり、間隔が2.00m以上の場合は排水量が少ないと判断し、釜場排水とする)

L1 : 施工延長(m)

n : 必要ウェルポイントの本数(本)

5. ポンプの口径及び台数 2Q

必要排水量は $2Q = 426 \text{ ㍀/分}$ であるため、ヒューガルポンプ口径は 80 mm 1 台

表-1 ヒューガルポンプの排水量

口径 mm	揚水量 $\text{m}^3/\text{分}(A)$	有効排水量 $(A) \times 0.8$	動力kw
80	0.95	0.76	3.7
100	1.0	0.80	5.5
125	1.5	1.20	7.5
150	2.5	2.00	11.0

6. 結果

ウェルポイント間隔が 0.7 mとなったため、**ウェルポイント**とする

表-2 揚水井戸の影響範囲

土 質		影響範囲 R(m)
区 分	粒 径(mm)	
粗 れき	>10	>1500
れ き	2~10	500~1500
粗 砂	1~2	400~500
粗 砂	0.5~1	200~400
粗 砂	0.25~0.5	100~200
細 砂	0.10~0.25	50~100
細 砂	0.05~0.10	10~50
シルト	0.025~0.05	5~10

(土と基礎の設計計算演習(第3回改訂版):土質工学会 p47)

表-3 透水係数と揚水量の関係

透水係数 K(m/s)	揚水量 q(㍀/分)
1×10^{-5}	1~5
5×10^{-5}	5~10
1×10^{-4}	10~20
5×10^{-4}	40~
土質	揚水量 q(㍀/分)
礫	50~70
砂 礫	30~50
粗 礫	20~25
砂	15前後
細 砂	8~10

(根切り工事と地下水):土質工学会p211

推進工数量計算書

名称	算式	数量
1. 立坑 (土留工)	管きよ工(小口径管推進, 管径 φ 400mm) 鋼製さや管推進工法 圧入方式	
	内寸 2.00m × 3.00m 外寸 2.40m × 3.20m	
	(1) 舗装切断工 県道舗装 (t=0.10m) $(2.40 + 3.20) \times 2 = 11.20$	11.2 m
	(2) 舗装取壊工 県道舗装 (t=0.10m) $2.40 \times 3.20 = 7.68$	7.7 m ²
	(3) 仮設土留工 簡易建込土留(H=3.5m) L=3.00m	3.0 m
	軽量鋼矢板土留(Ⅱ型) H=4.5m L=2.00m 1枚当り重量 $14.8 \text{ kg/m} \times 4.5 \text{ m} = 66.6 \text{ kg}$ $\approx 0.067 \text{ t}$ 賃料 W = 16 枚 × 0.067 t = 1.072 t	2.0 m 1.07 t 0.00 t
	H形鋼 100×100 1本当り重量 $16.9 \text{ kg/m} \times 1.9 \text{ m} = 32.1 \text{ kg}$ $\approx 0.032 \text{ t}$ 賃料 W = 2 本 × 0.032 t = 0.064 t	 0.06 t
	(4) 土工	
	<div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="text-align: center;">← 掘削工</div> <div style="text-align: center;">埋戻工 →</div> </div>	
	a) 立坑予掘工 $2.40 \times 3.20 \times 0.90 = 6.91$	6.9 m ³
b) 立坑掘削工 $2.40 \times 3.20 \times 3.05 = 23.42$	23.4 m ³	

推 進 工 数 量 計 算 書

名 称	算 式	数 量
	c) 基面整正 $2.40 \times 3.20 = 7.68$	7.7 m ²
	d) 埋戻材 (RC-40) $2.00 \times 3.00 \times 0.20 = 1.20$	1.2 m ³
	e) 埋戻工 (在来土) $2.40 \times 3.20 \times (1.64 + 0.40) = 15.67$	
	$V = 15.67 - (0.00 + 0.00) = 15.67$	15.7 m ³
	f) 路床工 $2.40 \times 3.20 \times (1.00) = 7.70$	7.7 m ³
	g) 発生土処分工 (土砂) $\begin{matrix} \text{予掘} & \text{掘削} & \text{埋戻} \\ 6.91 & + 23.42 & - 15.67 \end{matrix} \times 1.1 = 13.09$	13.1 m ³
	h) 発生土処分工 (Asガラ) $7.68 \times 0.10 = 0.768$	0.77 m ³
(5) 舗装復旧工		
県道舗装 (仮復旧)		
表層 (t=3cm)	7.68	7.68 m ²
上層路盤 (t=27cm)	7.68	7.68 m ²
下層路盤 (t=35cm)	7.68	7.68 m ²
(6) 継手		
リブ受口-VU差口変換継手 φ150		1 個
VU受口-リブ差口変換継手 φ150		1 個

管路土留工の工法選定、日数計算および水替工の日数計算

工事名

小矢部市特定環境保全公共下水道金屋本江地区管布設その1工事

月1回更新が必要な表(表1.1～表2.2)

更新日 令和3年3月30日

年1回更新が必要な表(表3.1～表5.1)

更新日 令和3年3月30日

書籍改訂後更新が必要な表(表6.1～表6.3)

更新日 令和3年3月30日

1. 設定条件

管種	PRP	
管径【mm】	150	mm
土留延長【m】	88.00	m ※数量計算書の値を入力
平均掘削深【m】	3.38	m ※数量計算書の値を入力(1.51m以上6.00m以下で入力すること)
舗装厚【m】	0.65	m ※表層+上層路盤+下層路盤の厚さを入力
掘削幅【m】	0.95	m ※数量計算書と同じ値を入力
掘削, 埋戻, 基礎工バックホウ機種	山積 0.45m3	※通常は山積 0.45m3で入力
土留工バックホウ機種	指定なし	※通常は指定なしで入力
腹起し・切梁	アルミ腹起し+水圧サポート	※通常はアルミ腹起し+水圧サポートで入力
予掘	1.00	m ※1.00mを標準とする

2. 計算結果

金額比較の結果、軽量鋼矢板工法 939,120円, たて込み簡易土留工法 1,054,584円のため以下を採用する。

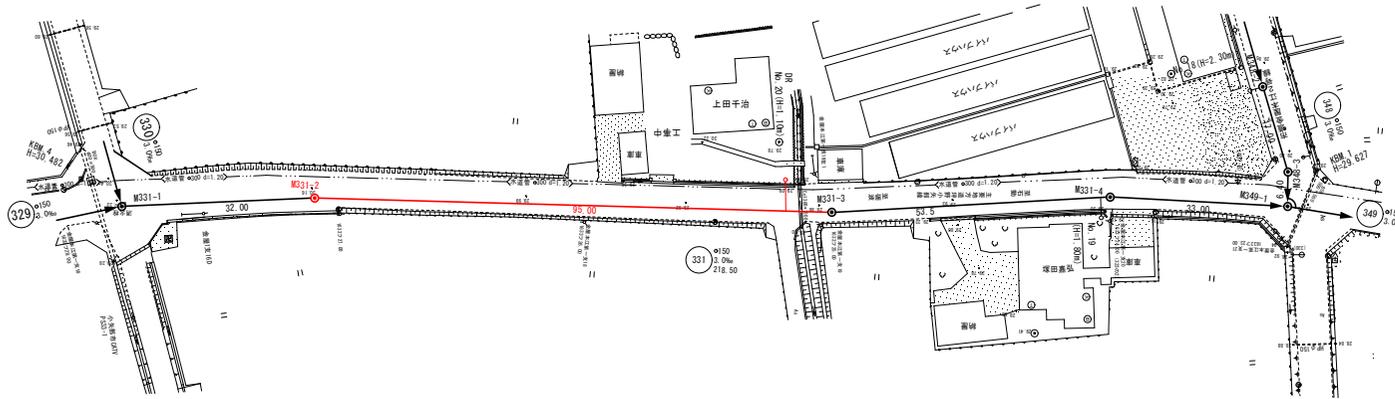
工法	軽量鋼矢板工法	
使用土留 (H=)	4.0	m
使用機械	山積 0.28m3	
管路土留実日数	11	日
管路土留共用日数	20	日
土留賃料	181,000	円
水替工日数(実日数)	7	日
ウエルポイント日数(共用日数)	13.2	日

※ウエルポイント日数が小数点以下1桁なのは、
この値+設置日数+撤去日数にて賃料計算をするため

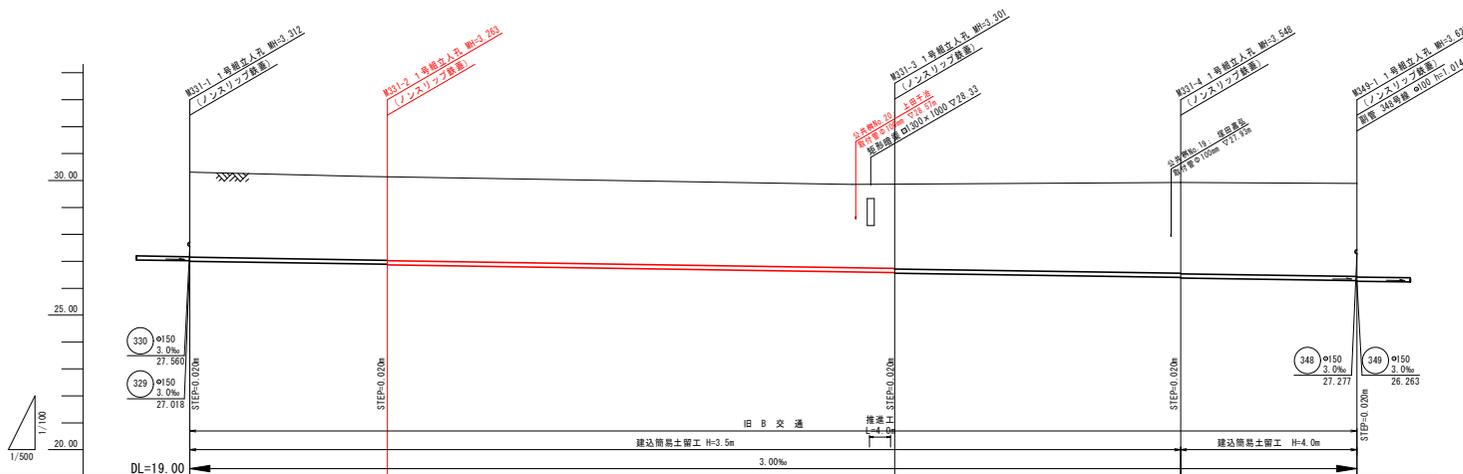
参考図書

建設物価、下水道用設計標準歩掛表 管路、土木工事標準積算基準書(共通編)、設計積算資料 富山県土木部
下水道用設計積算要領 管路施設(開削工法)編

平面図 縮尺 1:500



縦断面図 縮尺 1:100
縮尺 1:500



管番号 管径・延長	M331-1 1号埋込人孔 附径φ312 (ノンスリップ底面)		M331-2 1号埋込人孔 附径φ301 (ノンスリップ底面)		M331-3 上田干法 附径φ300×1000 278.33 (ノンスリップ底面)		M340-1 1号埋込人孔 附径φ348 (ノンスリップ底面)		M340-2 1号埋込人孔 附径φ327 (ノンスリップ底面)	
掘削深	3.41	3.35	3.38	3.40	3.63	3.65	3.71			
掘削敷高	26.895	26.764	26.779	26.659	26.299	26.779	26.180			
土被り	3.16	3.09	3.12	3.14	3.38	3.40	3.45			
現況地盤高	30.31	30.13	29.86	29.86	29.93	29.93	29.89			
管底高	26.895	26.887	26.882	26.882	26.402	26.882	26.283			
追加距離	0.00	37.00	132.00		185.50		218.50			
区間距離	0.00		95.00		53.50		33.00			

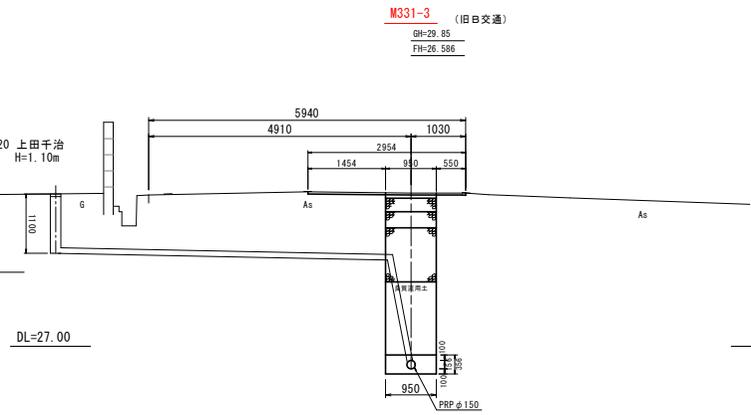
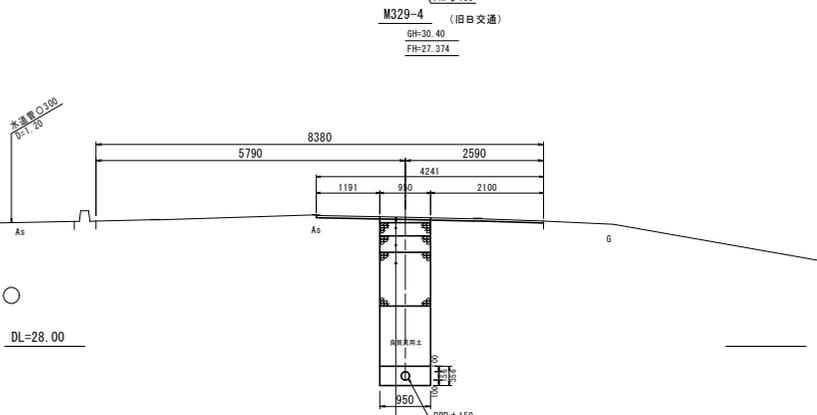
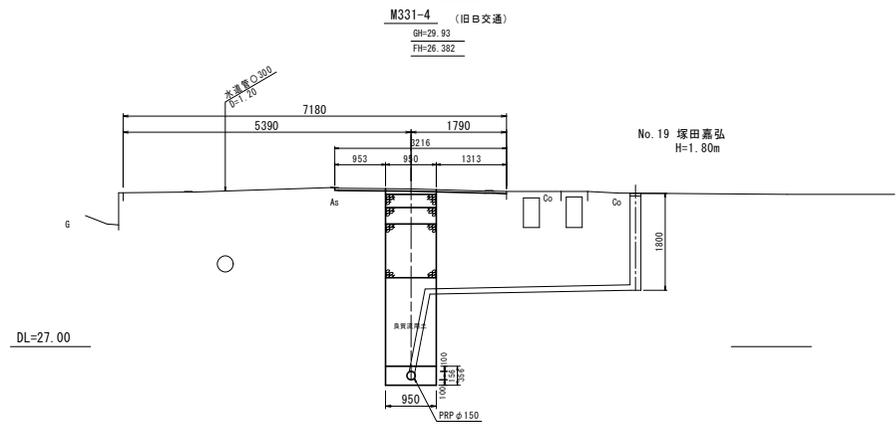
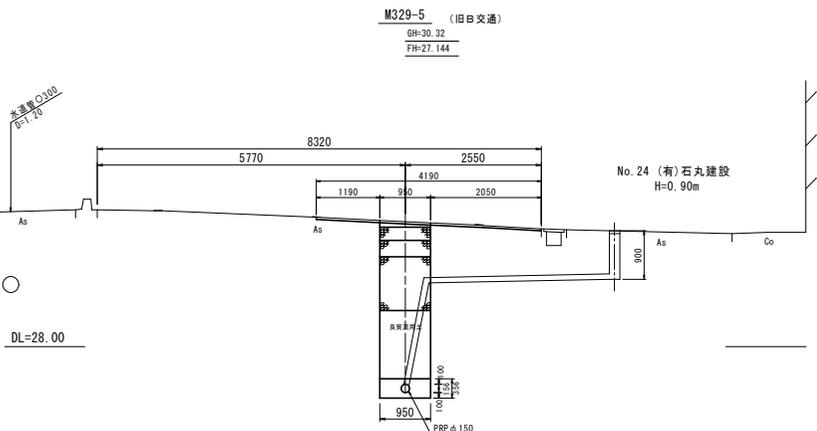
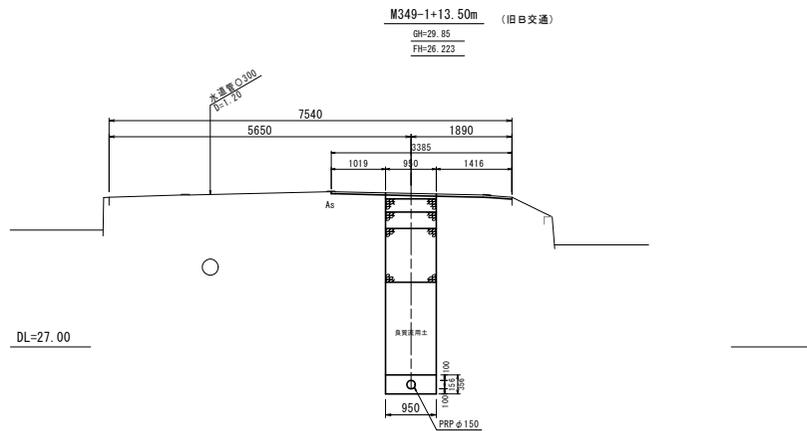
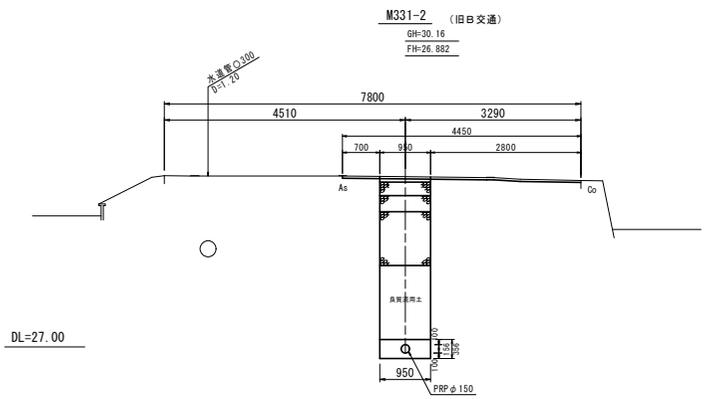
凡例	
---○---	既設管路
—○—	計画管路
○	将来計画
○	1号マンホール
○	2号マンホール
○	埋込マンホール
○	副管付マンホール
○	マンホール形式ポンプ場 (2号マンホール)
○	汚水検査管付管 (今回施工)
○	汚水検査管付管 (将来施工)
H=0.80m DR	鋼管 屋敷きタイプ
○	管番号
○	管径・勾配・延長

□ ○ コントロール
※取付管と本管が接続

管記号表

331				
-----	--	--	--	--

工事名	小矢部市特定環境保全公共下水道 金屋本江地区管施設その1工事			
図面名	平面・縦断面図			
縮尺	図示	図面番号		
作成年月日	令和 3年 4月 1日			
課長	係長	調査	設計	製図
小矢部市上下水道課				



表層 密砕層 AC20FH 再生材入り t=50
基層 粗砕層 AC-20 t=50
上層路盤 砕砕材石 単-40 t=200
下層路盤 再生クラッシャーラン RC-40 t=350
路床部 再生クラッシャーラン RC-40 t=1000

管番号表

329	331	349
-----	-----	-----

工事名			
図面名	横断面図(5/7)		
縮尺	1:50	図面番号	17/37
作成年月日	令和 2年 月 日		
課長	係長	照査	設計
小矢部市上下水道課			

下第15号
位置図

